



第6期宮前区区民会議 第6回地域福祉部会（仮称）

みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう

平成29年4月10日（月）18:00

宮前区役所4階第1会議室

次 第

1 議事

- (1) 区民会議フォーラムの振り返り
- (2) 今後の審議について
- (3) 部会名について

2 その他の連絡事項

今後の日程について

第7回地域福祉部会 5月1日（月）18時 会場：区役所4階 第1会議室

第5回全体会 6月16日（金）18時 会場：区役所4階 大会議室

配布資料目次

資料1 委員名簿

資料2 第6期スケジュール案

資料3 区民会議フォーラム分科会記録

資料4 有馬中学校・宮前平中学校での認知症サポーター養成講座（区HP、タウンニュース）

第6期宮前区区民会議 委員名簿

資料1

氏名	新任／再任	役職	所属部会	分野・団体名
カワダ カズコ 川田 和子	再	委員長		①防災・地域交通 宮前区自主防災組織連絡協議会
アオヤギ カズミ 青柳 和美	再	副委員長	地域福祉部会	区長推薦
オイカド トシコ 老門 聰子	新			③子育て・教育 宮前区こども・子育てネットワーク会議
ナカザト フミオ 中里 文雄	再	部会長		③子育て・教育 宮前区民生委員・児童委員協議会
ツバキ マサミ 樺 雅美	新			③子育て・教育 宮前区地域教育会議
スナガワ テツオ 砂川 徹夫	新			⑤産業・まちの活力 宮前区商店街連合会
ナカムラ フサヨ 中村 布佐子	新			⑥文化・観光 宮前区文化協会
タキモト クミ 滝本 久美	再			⑧地域特性 みやまえ情報ラボ
オオクボ マサカツ 大久保 正克	新			公募
カサイ イクコ 葛西 育子	再			区長推薦
オダ イクコ 小田 育子	再			区長推薦
カゲヤマ イシロウ 影山 亥史郎	新	副委員長	地域活性部会	④自然・生活環境 グリーンフォーラム21みやまえ世話人会
オイカド タイソウ 老門 泰三	新			②福祉・健康 社会福祉法人宮前区社会福祉協議会
オオキ ジロウ 大木 次郎	再			②福祉・健康 宮前区スポーツ推進委員会
ヤマダ カツラ 山田 桂	再			⑦地域組織・まちづくり 宮前区全町内・自治会連合会（宮前地区）
クロサワ カツミ 黒澤 克實	再			⑦地域組織・まちづくり 宮前区全町内・自治会連合会（向丘地区）
タナベ ヨウイチロウ 田辺 洋一郎	再			⑧地域特性 宮前区まちづくり協議会
ヤマベ キヨミ 山部 清美	新			公募
アラカワ ヨウコ 荒川 洋子	新			公募
サトウ タカフサ 佐藤 貴房	新	部会長		公募

第6期宮前区区民会議の進行イメージ

資料 2

年度	月	進行の目安	全体会・部会等の開催	備考
28	4		4/20 事前打ち合わせ会	
	5	地域課題の検討 テーマ分野・分類の絞り込み	5/20 第1回全体会	委嘱状交付 各委員から課題発表
	6		6/13 第1回準備部会	委員からテーマ出し
	7		7/14 第2回準備部会	専門部会構成案作成
	8	専門部会発足 (仮称)で始動 各テーマの現状調査、目指すべき姿、理想像の確認	8/4 第2回全体会	専門部会立上げ
	8		8/29 地域福祉部会① 8/30 地域活性部会①	部会テーマの更なる絞り込み
	9		9/16 地域福祉部会② 9/9 地域活性部会②	
	9		9/30 企画部会(1)	
	10	解決すべき課題の洗い出し、先進事例のサーチなど	10/6 第3回全体会	
	10		10/24 地域福祉部会③ 10/27 地域活性部会③	
	11		11/28 地域福祉部会④ 12/2 地域活性部会④	先進事例・現地視察等
	12		12/22 企画部会(2)	
1	フォーラムの企画・準備など	1/13 第4回全体会		
2		2/1 地域福祉部会⑤ 2/3 地域活性部会⑤	2/6 区民会議交流会	
		2/16 企画部会(3)		
		3/11 区民会議フォーラム		
29	4	課題解決に資する取組提案の検討	4/10 地域福祉部会⑥ 4/14 地域活性部会⑥	
	5		5/1 地域福祉部会⑦ 4/28 地域活性部会⑦	
	5		5/18 企画部会(4)	
	6		6/16 第5回全体会	
	7	取組提案の試行と検証など	7/10 地域福祉部会⑧ 7/14 地域活性部会⑧	
	7		7/31 地域福祉部会⑨ 8/4 地域活性部会⑨	
	8		9/1 企画部会(5)	
	9		9/15 第6回全体会	
	10		10/16 地域福祉部会⑩ 10/6 地域活性部会⑩	
	11		11/10 企画部会(6)	
	12		12/1 第7回全体会	
			区長への提案	
1	第6期の総括	1/11 企画部会(7)		
2	フォーラムの企画・準備	2/9 第8回全体会		
2		2/22 企画部会(8)		
3		3月中旬頃 区民会議フォーラム		

宮前区民会議フォーラム 分科会記録

(仮称) 地域福祉部会企画

多世代による地域支え合い～認知症サポートから考える～

日時：平成 29 年 3 月 11 日 10 時 15 分～11 時 45 分

10 時 15 分～11 時 15 分 認知症サポーター養成講座

11 時 15 分～11 時 30 分 区内事業者の取組紹介 (セブン-イレブン・ジャパン)

11 時 30 分～11 時 45 分 グループディスカッション

場所：区役所 4 階大会議室

1. 受付記録による参加者内訳 (全 30 名、区民会議委員・事務局以外)

※カッコ内は参加人数

- ・かわさき記念病院 (1)
- ・認知症サポーターキャラバン・メイト (2)
- ・認知症患者家族会 (1)
- ・セブンイレブン・ジャパン (5)
- ・東急ストア (2)
- ・地域包括センター (5)
- ・野川中学校 (2)
- ・民児協 (2)
- ・その他 (10)

2. テーブルディスカッションメモ

- ・ 事例：机を買った方。昨年も同じ内容でご来店。とても上品で見た目は認知症とは思えない。見分けられない方も居る。
- ・ 認知症と薬を飲まない！など頑固な方の対応。何が出来るか。
- ・ 認知症は病気で無いということを知れた。



3. 認知症サポーター養成講座 アンケート (参加者 30・有効回答数 : 30)

日時 : 平成 29 年 3 月 11 日 (土) 10 : 15-11 : 30

場所 : 宮前区役所

【参加者性別】

男性	女性	未回答	合計
14	15	1	30

【参加者年齢】 ※性別年齢未回答 1 名

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答	合計
男性	1	1	2	2	2	5	1	0	14
女性	1	2	1	0	3	4	3	1	15
合計	2	3	3	2	5	9	4	1	29

【今回の講座を受けて】 ※不明 1 名

	男性	女性	合計
とても良かった	8	5	13
良かった	4	6	10
普通	1	4	5
悪かった	0	0	0
とても悪かった	0	0	0
不明	1	0	1

【認知症に対する知識】 ※不明 1 名

	男性	女性	合計
症状から治療法まで知っていた	5	12	17
症状や病気であることまでは知っていた	3	2	5
病気であることまでは知っていた	5	1	6
名前だけ知っていた	1	0	1
まったく知らなかった	0	0	0

【認知症に対する知識】 ※不明 1 名

	男性	女性	合計
症状や対応、心構えがよく理解できた	11	13	24
認知症の症状が理解できた	3	2	5
あまり理解できなかった	0	0	0
理解できなかった	0	0	0

【サポーター向けのフォロー講座の希望】

	男性	女性	不明	合計
ぜひ参加したい	8	4	0	12
時間が合えば参加したい	6	9	1	16
参加は考えていない	0	0	0	0
不明	0	2	0	2

【意見・感想】

男性	70代以上	理論はわかりますが、地域で実際にどう対応すればいいのかが課題です。
男性	60代	認知症の発症リスクを軽減するには、脳の活性化を図るために、運動・生活習慣・コミュニケーションを見直すことが大切だと思います。
男性	40代	パワーポイントの内容は明るく、わかりやすかった。
男性	60代	認知症の理解が深まりました。
男性	30代	認知症は自分自身には関わりがないと考えていましたが、講座を受講して、身近な問題であり、自分のこととして考えていかなければと感じました。
男性	60代	知識としての認知症について、学べたことはとてもよかった。一方、身近に認知症患者が出た時、どう冷静に対応できるか、実体験するときに改めて学び直す必要があると思います。
男性	50代	定期的に行ってほしいです。
男性	40代	皆さんの意見を交換することが必要であり、重要だと改めて感じる事ができた。時間が足りなく感じました。
男性	30代	一人一人の理解度を高めることで、支え合う必要があると思いました。「他人事」ではないということ伝えていきたいと思います。
男性	10代	ディスカッションの時間が短かったです。
男性	20代	セブンイレブンの方が来ていたので、このような機会があり、意見交換ができたのは、大変ためになりました。
女性	60代	認知症は千差万別で、これが正しいということだけではないと思います。そのためには各方面からの多くの話を必要です。
女性	50代	両親の兄弟が認知症です。私の父は、自分の兄弟が二人も認知症になったことに、自分自身を重ねて心配しています。そんな父や母がわかりやすい講座を開いてほしいです。 セブンイレブンの駐車場で休日イベントなど、どうでしょうか

女性	10代	初めてこのような講座を受け、認知症が身近に感じられました。他人事に感じていて、自分にはまだ関わりのないことと思っていましたが、4人に1人がなりうること、様々な症状があることを知り、私も何かに気づいたら助けたいと思いました。
女性	70代以上	思っていたより参加者が多く、関心の深さが伺えた。
女性	20代	認知症家族の気持ちについて、とても想像しやすくお話ししてくださったので、ありがたかったです。
女性	30代	病気については勉強したが、具体的に対応している方の話が聞けて良かったです。
不明	不明	認知症に対する理解が以前より深まりました。スーパーとして、見守り活動にどのように参加すべきか、何ができるかを考えていきたい。

4. フォーラム参加者アンケート（分科会参加者・有効回答数：26）

①参加者属性

→男女・多世代、様々な参加者があった。

性別		年代							
男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代+	未記入
14	12	2	3	3	2	5	8	2	1

②参加者の居住地域

馬絹（3）、野川（3）、宮崎（3）、高津区（2）、
有馬、犬蔵、小台、鷺沼、神木、菅生ヶ丘、宮前平、川崎市外、東急ストア、
未記入（6）

③フォーラムの評価

→全体的な満足度は高い。「少し不満」は話合いの時間の少なさからか？

プログラム・体験内容					参加者同士の意見交換・話合い				
大変満足	満足	普通	少し不満	不満	大変満足	満足	普通	少し不満	不満
9	12	2	2	0	4	15	2	4	0

④区民会議を…

→区民会議をあまり良く知らなかった参加者が多かった。新たな参加が得られた？

良く知っていた	知っていた	名前は知っていた	知らなかった	未記入
4	6	6	9	1

⑤分科会への自由記入欄

【ポジティブ評価】

→講座の内容、得られた知識、企業の発表等を評価するコメントがあった。

- ・ 今後認知症について、身近な問題として考えていきたいです。
- ・ 知らない知識を多く学びました。
- ・ 認知症のことを全く知らない人でも知れる場で、とても参加して良かったです。
- ・ 意見交換では実態、現場の声を聞くことができた。
- ・ お話の中で環境が変わると症状が進行するとありましたが、事実なのでしょうか？ 進行を防ぐ薬を飲んでいてもそうなのでしょうか？
- ・ 認知症について知識と予防のことを知りました。実際の介護の人のお話を聞きたかったので良かった。
- ・ セブンイレブンの実践されていることは大変良いことです。ナナコカードを持っています。
- ・ ご意見を伺って考えさせられる、為になることが多かった。
- ・ 自分が考え得る枠を超えた意見を聞くことができてよかった。
- ・ 他人事を自分事として理解することができた。
- ・ 企業がでてきてくれるのは大変意義があった。

【不満・改善要望等】

→不満・改善要望のほとんどが、話合いの時間がもう少し欲しいという意見。

- ・ 最後の話合いの時間がもう少し欲しかった。
- ・ 意見交換の時間不足。
- ・ 話し合う時間が 15 分と短かった。30～1 時間くらいあってもよいのでは。
- ・ もう少し時間があると良かった。
- ・ ディスカッションが少ない。
- ・ 時間が短く、十分にお話を伺うことができなかった。
- ・ 内容が大変重要な事なのに、ディスカッションの時間が短すぎる。
- ・ 分科会は話し合う時間なく、残念でした。
- ・ ディスカッションの時間を 30 分以上にしてほしいです。
- ・ 自由討論の時間を増やしてほしいと思った。

【今後・発展系】

- ・ もっとこのような場があることをたくさんの方々に知ってもらい受けもらうとより多くの人が身近に感じることができ、良いのかなと思いました。
- ・ 偏見を持たないようにします。
- ・ 具体のケースに対し、地域として、近隣としてどう対応するか、ケーススタディを重ねた方が良いかも。
- ・ 年齢が低い内から正しい知識やお年寄りの気持ちをしっかり理解することで暮らしやすい地域になると思う。
- ・ 今後とも参加したいと思います。

⑥区民会議に取り上げてもらいたい地域課題（地域福祉部会の審議テーマ関係）

■買物困難者対策

- ・ 買物困難者対策について、取り上げていただきたい。
- ・ 買物で不自由されている方。
- ・ 私の居住する神木は住宅地でエリアとしても比較的狭く、地域内には商店が極めて少ない状況です。少し歩けば東急ストアとかがありますが、そこまで出かけられない方も多いと思います。外に出ることが認知症予防にも必要なので、エリア内にコンビニがあると良いねという話を耳にします。

■子育て支援・保育関連

- ・ 保育問題について
- ・ 託児所で保育士として働いていますが、「一時保育はやっていますか？」とよく尋ねられます。通常は家庭で子育てしているが、時々、預けられる場を求めているママが多く、また「ここでやっていますよ」と発信してあげられないことが心苦しいので、そういった場を増やしたり、発信して、使用できるようになれば良いと思います。
- ・ 障がいなどを持つ子どもの親の子どもに対する対応についてなど
- ・ 子育てしているママたちの悩みや困ったことについて

■高齢者福祉・障がい者福祉

- ・ 障害児ママ、孤立や悩みについて、夫が障がいがある妻の悩みなどについて
- ・ 高齢者福祉に関して課題が多いと思うので、各方面からとりあげていただきたい。
- ・ 老人ホームと子ども達の関わり

■認知症（継続）

- ・ 引き続き、認知症について取り上げてもらい、新しい方々に知っていただくことがいいと思います。また、ネットについても良いのではないかと思います。

■その他

- ・ 楽しくできるコミュニティづくり



現在位置：[トップページ](#) [くらしのガイド](#) [福祉・高齢者・障害者](#) [宮前区の福祉・高齢者・障害者に関する情報](#)
 中学生を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました

中学生を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました

ツイッターへのリンクは別ウィンドウで開きます

ツイート

2016年3月23日

将来の地域の担い手である中学生の皆様には認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者となってもらうことを目的とするものです

有馬中学校

平成27年12月1日（火）に有馬中学校1学年、平成28年2月23日（火）に3学年の総合学習において、認知症サポーター養成講座を開催しました。富士見プラザ地域包括支援センター、宮前区役所高齢・障害課の職員が講師となり、認知症の症状、対応の仕方について、寸劇や講義を通して楽しく学びました。生徒や先生の皆様にも寸劇に参加していただき、認知症について学びました。講座終了後は、認知症を支援する「目印」となるオレンジリングを配布しました。



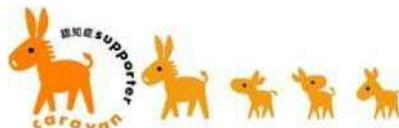
寸劇を通して認知症について学びました。



寸劇には生徒や先生にも参加してもらいました。



クイズ形式で認知症の方への接し方などを学びました。



[検索](#)[メニュー](#)[タウンニュース](#)[宮前区版エリアトップへ](#)[宮前平中](#)

400人が認知症サポーターに

中学生も見守りの一助

掲載号：2017年3月10日号



様々な意見を出し合う生徒

市立宮前平中学校（山本浩之校長）で先月20日と21日、「認知症サポーター養成講座」が行われ、3年生約400人の新しいサポーターが誕生した。主催した宮前第二地区社会福祉協議会の老門泰三（おいかどたいぞう）会長は「今後も中学生をはじめ、より多くの方に協力を呼び掛けていく」と話す。

「認知症サポーター」は認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守る支援者として活動する人。養成講座を受講することでサポーターとして認定される。現在、国では「認知症サポーター100万人キャラバン」として全国での普及に取り組んでいる。川崎市内では約3万5000人のサポーターが活動している（昨年9月末現在）。

今回の講座は同協議会の呼び掛けに同中学校が応じて実現した。同協議会による中学校での講座開催は初めて。地元生活基盤があり、地域で過ごす時間が長い中学生は大人と同様に見守り役として力強い存在になり得るとして中学校での開催を考えていた。「家庭内はもちろん地域においても支援の一翼を担ってほしい。見守り役として意識を高めてほしい」と話す。

講座では認知症の基礎やサポーターの役割を学び、認知症家族の講演、対応事例ビデオの視聴をした後、グループに分かれて事例に対する対応を生徒自ら考えた。ゴミの出し方が分からない人への対応では「優しく声を掛け、必要に応じて出し方を紙に書いて渡す」、買い物で支払い方法が分からない人には「一緒にゆっくりお金を数えてあげる」など、相手に寄り添った意見が多く挙げられた。

参加した生徒は「勉強になった。地域で困っている人がいたら積極的に声をかけたい」と話した。また、講師として参加したかわさき記念病院認知症家族会の岩田信行会長は「頼もしい意見がたくさんあった。これだけ多くの素晴らしい子どもたちが地域にいるのは安心」と話した。

なお、同協議会では、「地域包括ケアシステム」の推進に伴い、「認知症の人が住み慣れたまちで生活を続ける支援を進めよう」と区内のコミュニティカフェ等での講座開催に加え、小学生向け研修を行う等、着実に支援者を増やしている。